

(事業者向け) 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月15日

事業所名 COMPASS発達支援センター 丸亀NEXT

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法律に基づき、十分なスペースが確保されています。運動療育と学習療育のスペースを分け、環境に配慮しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・国の定める配置基準以上に有資格者で満たしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・室内はバリアフリーですが、室外に段差があるので、取り外しができるスロープ等考えています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・より良い療育、支援を提供するため職員間で情報交換し、振り返り等ミーティングを行っています。（リフレクション）
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者の方の意見や意向を把握し、改善に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・現在公開中です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者の外部評価が実施できるよう整備しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・COMPASSグループ全体で研修等を設け、質の向上を図っています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントを行い、保護者様のニーズや課題を把握し、よりよい支援・療育が出来るようにしています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・標準化したアセスメントツールを使用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・事業所内でチームで話し合いを行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・固定化しないよう2ヵ月に1回程、療育内容等話し合いをし、取り組んでいます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・年間通しての課題の他に、平日・休日、長期休暇それぞれに課題を設定しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・日々利用児童の状況を把握し、個々に合った活動に取り組んでいます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・前回利用時の利用児童の状況等、話し合いを行っています。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・アセスメントを行い、保護者様のニーズや課題を把握し、よりよい支援・療育ができるようにしています。	

適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・療育プラン（支援経過記録）に記入し、支援の改善に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に1回以上モニタリングを行い、計画を見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・基本活動を把握し、個々に合った活動を組み合わせさせています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者や児童発達支援管理者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎時にいつもと違う様子があった等、詳細を学校と伝え合い、情報の交換、共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在、医療的なケアが必要な子どもは居ませんが、ご利用があれば連携体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・担当者会等で情報の共有や交換を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・現在までに卒業した利用児童がいません。 ・今後該当するケースがあれば、利用がスムーズに進むよう情報提供をしたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・療育・支援の共有をするため、他事業所との連携を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・交流については、保護者様のご意見等を踏まえ、地域との連携や交流を検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・現在は参加できていませんが、必要だと考えていますので、今後は積極的に参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・電話相談・送迎時・連絡帳で情報共有を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・保護者様と現在の状況と一緒に把握し、色々な支援方法を考え、適切なアドバイスができるよう心掛けています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に丁寧に説明するよう心掛けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・利用児童の状況や内容を十分把握して、色々な視点からアドバイス・助言ができるよう心掛けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者様同士の情報交換や連携がとれ、ゆっくり意見交換ができる場を設けるよう努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・相談や申し入れがあった場合、迅速に対応するようにしています。

保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定や活動概要は連絡帳やカレンダーに載せています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・写真掲載等、個人情報に関わる場合には毎回保護者様へ確認文章を配布し、同意を得ています。 ・事業所内の個人情報書類は、鍵付き書庫に保管しています。 ・職員に関しては、入社時秘密保持誓約書を交わし、細心の注意を払っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童の状況や特性に合わせて十分な配慮をし、伝えていきます。また、保護者様には、専門用語を使わず、丁寧な言葉で伝えるよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流や地域との連携は大切であるため、今後運営について検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内にマニュアルや対策を貼り出しています。また、発生を想定した訓練（話し合い）を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を立て、さまざまな避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・最低、年間1回は虐待の職員研修を行い、事業所内で虐待責任者を選定しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体保護する為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示、家庭での対応について詳しく話し合い、周知し対応しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・事例はファイルにしており、前例を周知し、再発防止に繋げています。 	